

2018年度

S F

## 小 論 文

3月12日(月)

地域創造学環

9 : 30 ~ 10 : 50

【後期日程】

### 注 意 事 項

#### 試験開始前

- 1 監督者の指示があるまで、問題冊子、解答用紙、下書き用紙に手を触れてはいけません。
- 2 監督者の指示に従って、全部の解答用紙(2枚)に受験番号を記入しなさい。

#### 試験開始後

- 3 この問題冊子は、2ページあります。はじめに、問題冊子、解答用紙、下書き用紙(2枚)を確かめ、枚数の不足や、印刷の不鮮明なもの、ページの落丁・乱丁があった場合は、手をあげて監督者に申し出なさい。
- 4 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。(下書き用紙と間違わないよう十分注意してください。下書き用紙は採点対象となりません。)
- 5 問題は、声を出して読んではいけません。
- 6 配点は、比率(%)で表示してあります。

#### 試験終了後

- 7 問題冊子と下書き用紙は、必ず持ち帰りなさい。

次の文章を読んで、後の問一と問二に答えなさい。

政府だけに統治を任せるのではなく、社会の各層が役割分担しながら統治をおこなっていくことをガバナンスと言う(「ガバメントからガバナンスへ」と言われる)。環境ガバナンスと言えば、環境問題について、政府はもちろんのこと、多様な関係者(自治体、NGO/NPO、企業、市民など)がそれぞれの役割を果たしながら、全体として解決へ向けてとりくむしくみを指す。

〈中略〉 自然環境をめぐるガバナンスのあり方はどうあるべきだろうか。

多様な価値や不確実性を前提としたガバナンスを考えると、鍵となるのは、柔らかいしくみを考えることだ。固いしくみでは、多様な価値、変化する状況に対応しきれない。柔らかい、順応的なガバナンス・モデルが求められる。

具体的にはどうだろうか。何がそのポイントだろうか。

順応的なガバナンスの第一のポイントは、複数のゴールを考えるとということである。同じ「自然を守る」にもいろいろあるということ認識し、できれば狭い単一の目標を立てないこと。「自然」から入って出口が「産業振興」だったとか、「地域資源活用」から入って出口が「住民の福利の向上」だったとかいった、複数のゴールを柔軟に認めることが大事になってくる。

兵庫県豊岡市は、コウノトリの野生復帰で有名であるが、コウノトリを軸にした地域づくりで多様な展開をしていることでも知られる。いったん絶滅したコウノトリを人工飼育することに成功し、さらに二〇〇五年からは野外への放鳥を進めている。そうした自然再生と並行する形で、コウノトリが棲める環境づくりをめざして「コウノトリ育む農法」と名づけられた環境保全型稲作が推進され、地域のブランド米として経済効果を上げている。環境保全型企業への支援も積極的におこなっている。さらには、コウノトリを求めて観光客も多く集まっている。

〈中略〉

さらには、市内の各地区でも、さまざまなまちづくりのとりくみが見られるようになった。木質バイオマスエネルギー、地産地消、さらには休耕田を利用した湿地再生、などなど、その実践は多岐にわたる。コウノトリの野生復帰だけならば、おそらく地域の人もそれほどこのとりくみに関心を寄せなかったかもしれない。そこに産業振興やまちづくりの目標を並行させることによって(複数のゴールの設定)、豊岡市の実践は持続的なものになっている。

順応的なガバナンスの第二のポイントは、試行錯誤を積極的に認めるということである。

行政も専門家も、しっかりと計画を立てたがる傾向がある。しかし、細かな計画は、実は役に立たないことが多い。価値は多様に存在し、どの価値が重んじられるかについては変化する可能性がある(つまり、<sup>(注)</sup>レジティマシーが変化する可能性がある)。そういうときに、「しっかりと計画は、逆に障害にすらなる。

〈中略〉

誰が地域の環境保全を担うのか、誰が担い手なのか、ということについても、最初から決めてかからないほうがよい。ある人びとが環境保全の担い手として重要な役割を果たしていたとする。もちろん最初は、その人たちを軸に考える。しかし、地域における課題は徐々に変化する。ちょうど他の人たちが、別の動きをし始める。それは前の人たちと少し価値観も方向性も違うが、そこにもフォーカスを当てる。担い手は徐々に変化し、そのことによって地域の持続性が確保される。誰が担い手になるのかについても、試行錯誤のプロセスが大事だ。

それは、地域の中の多様性への配慮、多様な視点や価値への配慮ということも重なってくる。地域の多様性への目配りが、試行錯誤を生み、地域社会や自然の持続性をもたらす。

〔出典：宮内泰介『歩く、見る、聞く 人びとの自然再生』岩波新書二〇一七年より。出題の都合上、原文の一部に変更を加えている。〕

(注) レジティマシー…正当性

問一 傍線部「自然環境をめぐるガバナンスのあり方」として、著者が具体的に述べていること、及びそれによって著者が目指していることを、二〇〇字以内で説明しなさい。(配点三〇%)

問二 著者の主張をふまえて、「柔らかい、順応的なガバナンス」は、実現するためにどのような課題を持ち、それはどのような方法や工夫で解決することができるか、あなたの考えを六〇〇字以内で述べなさい。(配点七〇%)